

大会派遣・研修報告書		報告者: 池田 美紗子
1、大会・研修会名	第40回U12全九州バスケットボール大会	
2、研修期間	令和2年1月11日(土)～令和2年1月12日(日)	
3、開催場所	久留米アリーナ	
4、派遣者	吉村 愛菜、池田 美紗子、峰 聰(九州ミニ連として)	
5、研修内容	11日(土)審判会議、実技研修 ○女子1回戦 上津役(福岡1位)vs天草(熊本2位) CC 池田 美紗子(長崎) U1 小川 智弘(佐賀) ○女子2回戦 天草(熊本2位)vs大志(佐賀1位) CC 前岡 峻太郎(大分) U1 池田 美紗子(長崎) 12日(日)実技研修 ○女子準決勝 天草(熊本2位)vs与那城(沖縄1位) CC 倉本 明香(福岡) U1 池田 美紗子(長崎) ・TO管理 →小学生が行うので、ミスは起きること前提でいつも以上に管理を徹底。TOに意見を求めてもいいが、最後はrefereeが決断。 ・赤旗への対応、クルーとの役割分担を事前に打ち合わせしておく。 ・Cross callの考え方 →必ずしもミドルラインから先のエリアの判定がCross callになるとは限らない。ちょっとした立ち位置の工夫で判定可能なエリアもある。 ・Dual coverageの判定を相手に任せがちだったのでもっと積極的に行う。 ・クルーの距離が遠い。 →Tの位置を下げたり、Lは右に渡ったり工夫が必要。 ・常にreferee defenseを意識する。 ・POCはどこなのか、もっとこだわって正確に示すこと。	
6、所感	今回、初めてミニバスの九州大会に参加させていただきました。私はこの九州大会に派遣していただけたらとあってから、それに向けて県内でミニバスの試合を吹く機会をもらい、経験を積ませていただきましたが、これまで中学生以上のカテゴリーを吹く機会がミニバスを吹く機会より圧倒的に多かったこともあり、慣れない不安もありました。2日間とても緊張しましたが合計3試合担当させていただき、特に大きなトラブルもなく終了することができ、また、様々なことを学ぶことができました。そして、今回、派遣対象がU25ということもあり、滅多にないCCを九州大会で任せさせていただき、とても貴重な経験をすることができました。実際に私より若い審判員が頑張っている姿を見て、その方たちと話をして刺激をもらうことができ、2日間とても有意義な時間を過ごすことができました。この経験を無駄にせず、これからの活動に活かして頑張りたいと思います。 最後になりましたが、ご指導いただきました講師の皆様、福岡県バスケットボール協会、派遣して下さった長崎県バスケットボール協会、県審判委員会、平素よりお世話になっている関係者の皆様全ての方に、感謝申し上げます。そして学んできたことを自分だけではなく、周りにも還元していき、長崎県バスケットボールの発展に役立てよう、これからも精進していこうと思います。ありがとうございました。	